

# I 平成 26 年度 事業報告

## 1 調査研究並びにその成果の公表及び政策提言事業（事業費 31,247 千円）

### (1) 受託研究事業

愛媛県、久万高原町ほか公的団体からの委託を受け、地域政策に関する 9 件の調査研究を実施した。

受託研究事業名	委託元
地域活動組織構築サポート事業（久万高原町二名地区）	久万高原町
地域活動組織構築サポート事業（松野町蕨生、奥之川地区）	松野町
上島町魚島地域元気アッププロジェクト事業	上島町
集落間情報ネットワーク構築事業	愛媛県（地域政策課）
愛媛県長期計画アクションプログラムの検証に係るアンケート調査事業	愛媛県（総合政策課）
愛媛県政に関する世論調査事業	愛媛県（広報広聴課）
名勝候補地に関する調査事業	愛媛県（文化財保護課）
企業等の連携による社会貢献活動促進事業	愛媛県（男女参画県民協働課）
東予の誇れる産業遺産データベース作成等業務	愛媛県（東予地方局）

（受託研究事業費計 9,078 千円）

### (2) 自主研究事業（事業費 169 千円）

人口減少問題などの地域の政策課題について自主研究を行い、その内容を機関誌「ECPR」に掲載した。

調査研究名	掲載時期
県内大学生の定住意識に関するアンケートを実施	平成 26 年 10 月実施
愛媛県の 2040 年の市町別推計人口（ECPR の別冊として発行）	平成 26 年 9 月発行
人口減少社会における集落維持に向けた取り組み（ECPR vol. 34 に掲載）	平成 26 年 9 月掲載
再生可能エネルギー活用に当たっての様々な課題について	平成 27 年 3 月

### (3) 情報サービス事業（事業費 7,861 千円）

#### ① 調査研究情報誌「ECPR」の編集・発行（各 1,700 部）（事業費 1,289 千円）

「ECPR」を発行し、特集テーマについて、研究者の論説、現状分析等の情報を提供した。Vol. 34 は、「地域内の未利用資源の循環を考える」と題して、木質バイオマスの活用や自然資源を地域づくりに役立てている事例を紹介した。

また、Vol. 35 は、「人口減社会を考える」をテーマに、愛媛の人口推計の統計データを読み解くことから、地域の実情をどう把握し今後を活用していくかを探った。

番 号	特集テーマ	発行
Vol. 34	地域内の未利用資源の循環を考える。	平成 26 年 10 月
Vol. 35	人口減社会を考える。	平成 27 年 3 月

② 情報誌「舞たうん」の編集・発行（各号 3,000 部）（事業費 3,775 千円）

愛媛県市町振興協会からの委託を受けて、地域づくりに関する事例や最新情報、センターの業務などを紹介する地域づくりネットワーク情報誌「舞たうん」を年 4 回発行し、会員や県内外の地域づくり関係者に配布した。

番 号	特集テーマ	発行
Vol. 120	ワカモノ ～地域づくりの後継者～	平成 26 年 4 月
Vol. 121	みんなでつくる地域活動組織	平成 26 年 7 月
Vol. 122	何を求めて人は地域に来るのか	平成 26 年 10 月
Vol. 123	学びから広がるネットワーク	平成 27 年 1 月

③ 「えひめイベントBOX」の編集・発行（3,200 部）（事業費 2,285 千円）

愛媛県市町振興協会からの委託を受けて、地域におけるイベントを市町単位で紹介するイベント情報誌「えひめイベントBOX」を発行し、会員、マスコミ、観光関係者等に配布した。

名 称	内 容	発行
えひめイベントBOX 2014	各市町のイベントの年間予定を紹介 特集「水辺で癒す～水と親しむ癒しの名所」	平成 26 年 4 月

④ インターネット等による情報提供・発信（事業費 512 千円）

地域政策、まちづくり、地域づくり団体等に関する各種情報を収集・整理・データベース化し、各種媒体を通じて会員等に提供するとともに、センターの業務内容を紹介するため、インターネット上にホームページを運営し、各種情報を広く一般に提供した。

⑤ 出版書籍の販売

○ これまでに発行した書籍（4 冊）について、引き続き販売を行った。（売上額 計 201 千円）

書籍名	発行年
「愛媛温故紀行」明治・大正・昭和の建造物	平成 15 年 3 月
「松山環状線物語」松山のまちと道路	平成 16 年 8 月
「しまなみ海道物語」瀬戸内の島々 人と暮らしと長大橋	平成 18 年 6 月
「えひめの近代化遺産」	平成 25 年 10 月

○ 在庫切れ等により、「えひめの近代化遺産」を除き、販売を終了した。

## 2 意識啓発及び人材養成事業（事業費 3,940 千円）

### (1) 政策研究セミナー等の開催（事業費 429 千円）

時流に即した情報を提供する「政策研究セミナー」、地域課題に関して講師を交えて話し合う「地域課題研究サロン」を開催した

- 政策研究セミナー（平成 26 年 12 月 13 日開催）男女協働参画センター（参加者 43 人）  
「過疎集落の現状と再生に向けて」  
講演：首都大学東京 准教授 山下 祐介 氏  
対談：「愛媛の過疎集落の現状と再生を考える」山下氏×笠松浩樹氏（愛媛大学農学部助教）
- 地域課題研究サロン（近代化遺産まち歩きツアーの実施）（参加者 3 回計 70 人）  
平成 23～24 年度に調査を行い、報告書を取りまとめた県内の近代化遺産について、その普及啓発と活用を図るための第一歩として、これらを広く知ってもらうための見学ツアーを実施した。講師：岡崎 直司 氏（近代化遺産活用アドバイザー）
- ① 近代化遺産をめぐるまち歩きツアー 松山編（参加者 22 人）  
平成 26 年 10 月 4 日（土）道後温泉本館～松山地方気象台～東雲高校など
- ② 近代化遺産をめぐるまち歩きツアー 大洲編（参加者 23 人）  
平成 26 年 11 月 1 日（土）大洲少彦名神社～長浜大橋～セラリカNODA
- ③ 「いよてつ」でめぐる近代化遺産とトークサロン（参加者 25 人）  
平成 26 年 12 月 6 日（土）松山市立花駅～松前町岡田駅～伊予市郡中駅

### (2) 地域づくりフォーラム、ミニフォーラムの開催（事業費 125 千円）

えひめ地域づくり研究会議及び地域づくり団体との共催により、各地域で地域づくり・まちづくりを考える年次フォーラム及び地域ミニフォーラムを開催した。

- えひめ地域づくり研究会議 年次フォーラムの開催  
平成 27 年 1 月 31 日（土）（参加者 66 人）  
「新しき時代へ！えひめのまちづくりルネッサンス」をテーマに開催（道後にぎたつ会館）  
講師：（株）石見銀山生活文化研究所 代表取締役 松場 登美 氏
- 東予地区ミニフォーラム  
平成 26 年 12 月 19 日（金）（参加者 19 人）  
「東予地域ミニフォーラム in 新宮」（四国中央市新宮 霧の森）  
講師：（株）やまびこ 企画販売部長 平野 俊巳 氏
- 中予地区ミニフォーラム 平成 27 年 3 月 21 日（土）  
「四国遍路は心の世界遺産なのだ」、久万高原町久万町民会館  
講師：胡 光 氏（愛媛大学法文学部教授）

○ 地域づくり講演会

平成 26 年 12 月 21 日（土）（参加者 54 人）

「伊予市郡中・町並み景観まちづくりを考える」（伊予市郡中まち元気サロン来良夢）

講師：北島 力 氏（NPO 法人八女町屋再生応援団 副代表）

(3) 地域づくりリーダー育成研修会（「地域づくり人養成講座」）（事業費 899 千円）

愛媛県から委託を受け、地域づくりの核となる人材を育成するため、県内から受講生を募集し、現地でのワークショップを中心とした研修を行っている。26 年度は「地域資源の活用」をテーマに実施した。受講生 32 名。

開催時期	研修内容・開催地等
平成 26 年 6 月	開講式・第 1 回講座「まちづくり総論」「地域資源を活かす」
平成 26 年 7 月	第 2 回講座「自然を活用した地域活性化」（西条市 中奥地区）
平成 26 年 8 月	第 3 回講座「農業と音楽で地域をつなぐ」（松山市 中島地区）
平成 26 年 9 月	第 4 回講座「地域資源活用による集落活性化」（八幡浜市日土地区）
平成 26 年 10 月	第 5 回講座「四国西予ジオパークと地域づくり」（西予市 城川地区）
平成 26 年 11 月	第 6 回講座 受講生の自主研究発表会・閉講式

(4) 地域づくりコーディネーター派遣事業（事業費 20 千円）

地域づくり団体等が行う自主的、主体的な地域づくりを支援するため、各分野の専門家・有識者を団体等に派遣し、助言・指導を行った。

3 活動支援及び交流促進事業（事業費 10,909 千円）

(1) まちづくり活動アシスト事業（事業費 1,160 千円）

まちづくりグループの活動を支援するため、創意と工夫に富み、地域の活性化に寄与するイベントや学習会の開催、広報資料の作成などに要する経費を助成した。（助成上限額：1 団体 200,000 円）

グループ名	市町	活動内容
グリーンキャンドゥ	上島町	弓削島における植樹による緑化推進、海岸清掃による環境美化活動を実施
金子おやじの会	新居浜市	子供に対し芸術に触れる機会を提供し、想像力を育むワークショップを実施
淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会	松山市	淡路ヶ峠の遊歩道や駐車場を整備し、健康づくりと地域の歴史再発見を行う。
読み語り隊	伊予市	子供による「読み語り隊」の高齢者との交流活動を通して地元愛を育てる活動

大川鯉のぼり川渡し実行委員会	大洲市	鯉のぼりイベントにより、過疎地域の活性化と郷土愛の盛り上げを目指す。
クリスマスオレンジフェスティバル 実行委員会	八幡浜市	「みなっと」において、オレンジを使ったイベントを開催し、地元産みかんの価値を広める活動を実施

## (2) 地域づくり課題解決協働事業（事業費 1,376 千円）

地域住民が主役となる自主的・自立的な地域づくりを支援するため、地域住民、市町、団体等と協働して地域課題解決に向けた取組みを行った。

### ① 地域社会未来づくり協働会議（事業費 150 千円）

地域の様々な課題に対して、多様な主体がそれぞれの特性を生かして協働を進め、地域課題の解決に取り組んでいる。

平成 27 年 2 月 20 日（金）未来づくり協働会議開催 松山市コムズ

○ 参加団体：愛媛県、伊予銀行、愛媛銀行、JAえひめ中央会、コープえひめ、愛媛大学、愛媛新聞社、県商工会議所連合会、県公民館連合会など 15 団体（参加者数 28 人）

○ テーマ：『協働会議（円卓会議）の在り方について』

講師：板持周治氏（島根県雲南市地域振興課）

### ② 地域おこし協力隊交流研修会（事業費 26 千円）

開催日：平成 26 年 10 月 9 日（木）

場 所：西予市明浜町 高山公民館（参加者数 64 人）

講 師：（一財）地域活性化センター 理事長 椎川 忍 氏

## (3) 地域づくり団体等研修交流会の開催（事業費 377 千円）

県内各地で活動している地域づくり団体等がより効果的な活動を展開できるよう、愛媛県ふるさとづくりネットワーク推進会議との共催により、研修・交流会を開催している。26 年度は下記のとおり開催した。

開催日：平成 27 年 3 月 7 日（土） 松山市コミュニティセンター（参加者数 41 人）

テーマ：「地域資源の活用方法を見つけませんか」

講演：愛媛大学 社会連携推進機構 教授 前田 眞 氏

講演後、ツアープランナー、結婚式プロデューサーの事例発表、意見交換会を実施

## (4) 移住・交流支援事業（事業費 4,580 千円）

### ① 「愛媛ふるさと暮らし応援センター」（平成 19 年 9 月開設）の運営（専任職員 2 名）（1,960 千円）

都市から地方への移住交流を促進することにより、地域の活性化を図るため、「愛媛ふるさと暮らし応援センター」を設置し、専任職員 2 名を配置して運営した。

ア 移住希望者に対する移住先の斡旋及び市町への取次ぎ

イ 市町の移住者誘致の取組みに対する個別相談・助言

ウ 効果的な移住交流促進施策の具体化に向けた情報収集・分析業務

② 移住・交流促進事業（事業費 2,620 千円）

県外フェアへの出展、えひめ移住支援ポータルサイト『e移住ネット』『えひめ空き家情報バンク』の運営、「おかえり愛媛通信」の発行などを行うほか、移住・交流学習会を開催して、相談窓口の機能強化と受け入れ態勢の充実を図った。（年間出展回数 6回）

【出展した県外フェア】

四国暮らしフェア（東京）平成 26 年 8 月 30 日（土）

朝日UIターン相談会（大阪）平成 26 年 9 月 7 日（日）

ふるさと回帰フェア（東京）平成 26 年 9 月 21 日（日）

ふるさと回帰フェア（大阪）平成 26 年 10 月 25 日（土）

中四国もう一つのふるさと探しフェア（大阪）平成 26 年 11 月 8 日（土）

JOIN 移住・交流&地域おこしフェア（東京）平成 27 年 1 月 18 日（日）